

学びをひろげる (第7回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2014年11月1(土) (1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東
(大阪市城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21 ☎06-6965-1200)
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。

一人で拡がらない学びを○人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



京橋駅(JR線)南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅(京阪線)中央口から南へ約850メートル

第6回の内容

研究会に参加されている若い人の発言の中に、昔と違う現場の様子・悩みを感じ、事務局では研究会を進めるにあたって、やはり現場から学ぼうということで、2回にわたって『今、若い教師たちが語る学校とは……』というテーマで若い人たち(初任から10年まで)に語ってもらいました。若い人たちの思いが限られた時間のなかで十分語っていただけなかったのですが、様々な市・学校、経験年数の違いがあってもそれぞれの報告内容・後の意見交流を通して、共通した課題が見えてきました。たとえば自分の意見を言わない、まわりを気にして自分のやりたいことをしない等、安易な若者批判・現場批判では、それが若者の思いをしっかりとらえず、今現場がどうなっているかを見ていないことがわかりました。ここに来て報告していただいた人やそこにつながっている人たちは、子どもたち一人ひとりにしっかり向き合い、なんとかしたいと思っている人たちでした。

報告を通して見えてきたのは、時間がないことが共通の悩みであること。教職員が同じ方向を向きながら学校づくりが出来なくて孤立化している。日々の授業が、指導書にたよってしまうが、少しでも子どもに興味を持ってもらうために授業の準備をするが、学校での会議、報告書等のため時間がない。子どもと触れ合う(遊び、学習)時間も持てない……等々でした。

事務局では、子どもたちが友だちと関わり合う(友だちの考えを聞き、自分の考えを語る)授業が出来ないか、そんな授業スタイルを追求していくこと、また子どもが興味を持つ教材をつくりあげていくことが大事だと考えました。そして、教育を取り巻く状況を見つめ批判していくことも必要だと思っています。



研究会の様子

第7回は



「大空小の実践から授業を考える」

第3回の『学校づくり』で報告していただいた「大空小(大阪市)」の授業を通して「授業づくり」について考えていきます。提案は、長年大空小にかかわっている堀 智晴さんから見た授業、そして実際に6年生にした授業での話、また大空小の先生にも話に入ってもらおう予定です。学校づくりで大切にしなければいけない「授業づくり」についてみんなで考え、話し合しましょう。多くの参加お待ちしております。

案内は、ホームページ(<http://manabi-hirogeru.net/>)にも掲載しています。(多くの方の申し込みをお待ちしています)当日参加もOKです。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎✉gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☎✉yamamoto2.cham-miku@nifty.com)

★次回第8回研究会は、2015年1月31日(土)午後1時45分~5時 都島区民センターで行います★